

| | | |
|----------------------------|--|---|
| 開講科目名 / Course | 生徒指導 | |
| ターム・学期 / Term・Semester | 2024年度 / Academic Year 1 学期 / First | |
| 開講区分 / semester offered | 1 学期 / First | |
| 単位数 / Credits | 2.0 | |
| 学年 / Year | 2 | |
| 主担当教員 / Main Instructor | 藤村 晃成 | |
| 担当教員名 / Instructor | 関根 剛、藤村 晃成 | |
| 必修・選択 / compulsory subject | 選択 | |
| 講義形態 / Class Type | 講義 | |
| 授業回数 | 15 | |
| 科目の目的と概要 | 1. 教師として生徒指導を行う上で理解すべき考え方（法制度を含む）や理論、実践のための方法などを理解する。 2. 学校で実際に生徒指導を行うための実践能力の基礎を養う。 | |
| 到達目標 | 1. 生徒指導の意義と原理を説明することができる。 2. 生徒指導の3機能について説明できる。 3. 学校における生徒指導体制について説明することができる。 4. 児童生徒の発達特性を踏まえた問題行動への対応の原理を説明することができる。 | |
| DPとの対応 | 1.心豊かな人間性・倫理観、4.連携協働・リーダーシップ、5.地域性・国際性、6.探求心と創造力 | |
| 授業計画 | 01. 生徒指導とは何か：生徒指導の定義 02. 生徒指導の意義と課題 03. 教育課程における生徒指導の位置付け(1)：教育課程の共通性と生徒指導の個別性 04. 教育課程における生徒指導の位置付け(2)：学習指導における生徒指導、道徳・総合的な学習・特別活動との関連 05. 集団指導・個別指導の方法原理 06. 生徒指導体制：生徒指導の組織、教育相談体制、全校指導体制の確立 07. 児童生徒全体への指導：組織的対応と関係機関等の連携 08. 学級経営と生徒指導(1)：基礎的な生活習慣の確立、規範意識の醸成 09. 学級経営と生徒指導(2)：自己存在感を育む場や機会の設定 10. 生徒指導に関する法令：校則、懲戒、体罰、停学及び退学 11. 問題行動への対応(1)：いじめ、不登校、非行 12. 問題行動への対応(2)：今日的な生徒指導上の課題、関係機関との連携の在り方 13. 自己存在感を育む指導法(1)～個別指導の具体的方法 14. 自己存在感を育む指導法(2)～集団指導の具体的方法 15. 教育相談の進め方：児童生徒との教育相談の実際、校内、校外の関係機関との連携 | |
| その他の授業の工夫 | ・ハンドアウトを配布し、最新の教育事情に関する話題提供を行う。 ・受講者が話し合う機会を提供する。 | |
| 時間外学修 | ・授業計画に基づき、授業開始前に資料などに目を通すこと（15h）。 ・授業終了後、講義中に提示された資料を整理し、復習をおこない、生徒指導における基本的な概念について自分なりの理解を構築する（20h）。 ・期末レポートの作成（10h）。 | |
| 評価方法と評価割合 | 期末テスト（レポート：80％）と受講態度（発言の積極性、グループワークへの貢献度など：20％）により行う。 | |
| テキスト | | |
| 参考書 | 生徒指導提要改訂版（文部科学省） | |
| 履修する上で必要な要件 | | |
| その他 | 特になし | |
| 教員の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 教員以外で指導に関わる者の実務経験 | 有・無 | 無 |
| | 内容 | |
| 実務経験をいかした教育内容 | | |